

増え続けるごみ ごみの減量について考える

環境課（本庁舎内） ☎ 82 - 1290

丹波市のごみ排出量は年々増加しており、市クリーンセンターの処理能力は限界に達しようとしています。また、丹波篠山市清掃センターに搬入している山南地域のごみは、令和9年4月から丹波市クリーンセンターで受け入れることになっており、ごみを減らすことは大きな課題となっています。



ごみ排出量の現状

外出自粛の影響でごみ量が増加

新型コロナウイルスの影響で、私たちの暮らしは一変しました。外出自粛が呼びかけられ、在宅時間が増えたことで、令和2年度の家から出るごみの量が前年度と比べて約650トン増えました。在宅勤務など、新しい生活様式の浸透に伴い、今後も引き続き家庭ごみが増えることが予想されます。この機会に、あらためて「ごみの減量」について考えてみましょう。

クリーンセンターの処理能力が限界

令和2年度に丹波市で発生したごみの総量は1万7千948トン。このうち、燃やすごみは1万5千160トンで、山南地域を除く5地域分の1万2千870トンは、市クリーンセンターで処理していますが、クリーンセンターが処理できるごみの量の限界に近づいています。また、山南地域の焼却のごみ2千290トンは丹波篠山市清掃センターに搬入されていますが、令和9年4からはクリーンセンターで全量を処理することとなり、燃やすごみの減量は大きな課題となっています。

積極的なリサイクルを

令和2年度にリサイクルすることができたごみの量は、2千350トンでした。しかし、燃やすごみを一時的に貯めておく、ごみピット内の成分を調査すると、紙・布類が38%、ビニールなどが31%で、全体量の7割を占めていることが分かりました。紙類などは積極的にリサイクルするなど、より徹底した分別をすることで、燃やすごみの量を減らしましょう。

ごみ処理には年間約6億円が必要

令和元年度のクリーンセンター運営費の内訳は、収集運搬費が約2億6千万円、処理作業の経費は約6億円でした。また、丹波篠山市に支払う山南地域のごみ処理の負担金は、1億円を超えています。

一方収入としては、ごみ袋代が約1億2千万円、持込手数料が約6千8百万円です。結果として、ごみ処理にかかる経費の約4分の1をごみ袋代などで負担し、4分の3を税金で負担する計算になっています。ごみを減量して経費を節約すること

とできれば、住民サービスの充実
に財源が充てることが出来ます。

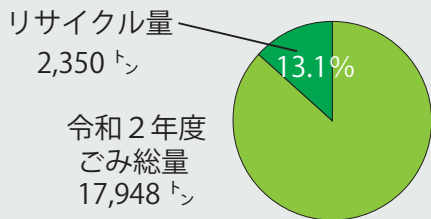
令和3年4月号から
掲示板にごみの減量
化に向けて取り組む
「みんなで家庭ごみ
減量チャレンジ！」
を掲載しています。

27ページを
チェック！

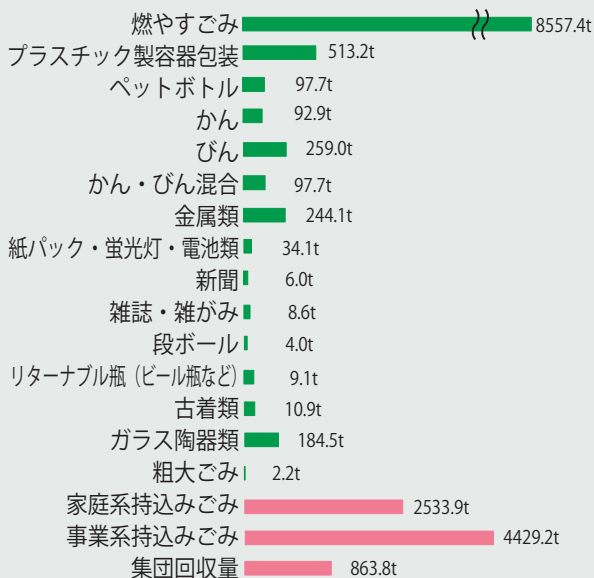


丹波市で発生したごみ量の現状

令和2年度リサイクル量(速報値)



令和2年度総ごみ量内訳



※緑色は家庭系収集ごみ

ごみ処理経費の推移

ごみ処理経費の推移(千円)

項目	H29	H30	R1
職員人件費	177,832	186,526	191,922
収集運搬費	233,858	256,182	266,575
焼却・選別等処理費 ※山南地域ごみ処理 負担金を含む	369,131	516,318	533,688
埋立・最終処分費	50,320	57,064	42,692
車両等購入費	0	7,787	0
山南地域ごみ処理負 担金	126,485	142,953	149,636
ごみ収集手数料	119,522	119,781	121,369
ごみ持込手数料	65,539	66,613	68,031

プラごみ袋価格の値下げへの答申を受けて

現在、燃やすごみの減量化に向けた施策を検討中です。それに先駆け4月27日、市廃棄物減量等推進審議会の中道知代子会長から林市長に「プラスチック系のごみ用袋料金を改定」することについて、答申書が提出されました。

答申書では、令和3年8月1日以降、プラスチック系ごみ用袋の大袋を50円から20円に、中袋を30円から15円にそれぞれ引き下げるのが適当とされています。今後は、市議会での審議を経て、改定に向けた準備を進めます。



答申書を市長に手渡す中道知代子会長(中央)と金川方子副会長(左)

分別回収されたごみは どうなるの？

クリーンセンターでの処理の様子を紹介します。



丹波市クリーンセンター



プラスチック系ごみ

容器に汚れがついたままのものや、プラマークのついていないものは、資源としてリサイクルすることができません。これらの異物を職員が手作業で取り除いた後、機械で圧縮・梱包し、資源としてリサイクルします。



1



2



3



4

1_ プラごみに混ざった異物を手作業で回収するセンターの職員 2_ よごれたままの容器や袋 3_ アルミ鍋の容器や注射器 4_ プラマークのないプラ製品



びん



手作業でびんの色ごとに分けられた後、リサイクル業者に引き取られます。



かん



アルミ缶とスチール缶に機械で分別・圧縮し、資源としてリサイクルされます。

interview

正しい分別で資源の有効活用とごみの減量を

プラスチック製でも、プラマークのついていないものや、汚れがついたものはリサイクルできず、選別の段階で燃やすごみになっています。選別作業は機械ではできないため、プラごみで出されたごみは、職員が手作業で行っています。作業の過程で金属類などが分別されずに出されていると、職員がケガをすることもあり、大変危険です。資源の有効な活用とごみの減量のため、また安全かつスムーズに作業ができるよう、正しい分別に協力をお願いします。



丹波市環境課 環境整備員

岡本 政明さん

■ 家庭での「ひと手間」でごみを減量

■ 生ごみは水分を切る

ごみピット内に貯めている燃やすごみの成分を調べると、重量の44.43%は水分でした。水分が減ればごみ減量につながり、ごみが減れば、ごみ処理にかかる費用や負担も減少します。生ごみは捨てる前にしっかりと水をきるなど、水分を減らしてから捨てるようにしてください。

■ プラスチック製容器包装

プラマークがついているかを確認し、容器などが汚れている場合は洗って乾かしてから捨ててください。汚れた状態や、中身が入った状態で分別をしても、結果的に燃やすごみになっています。※お弁当の汚れは、付いているおしぼりで拭くだけでもとることができます。

■ 「ごみ分別アプリ」の活用を

スマートフォンやタブレット端末などで利用できる「丹波市ごみ分別アプリ」を配信しています。ごみを出す日に知らせてくれる機能や分別方法を確認できる分別辞典があり、ごみに関する悩みを解決します。

▼ Android の場合 ▼ iOS の場合

ダウンロードは
こちらから



▼ ごみ分別辞典



ごみの出し方が
検索で簡単に分かる

▼ ごみカレンダー



居住地域に合わせた
収集日の確認ができる

■ リサイクル品の積極的な利用

■ 体験教室



とんぼ玉体験教室の様子

クリーンセンターで収集した、ガラスなどを材料にして新たに製品を作り出すリサイクル体験教室を実施しています。

■ リサイクル品の有効活用



譲渡品が展示されている
クリーンセンター 1F ロビー

クリーンセンターに持ち込まれた自転車、家具などを施設内の再生工房で修理、再生し譲渡しています。自転車は大人用500円、子ども用300円。家具などは無料です。

エコ・コラム



雑がみ類などはリサイクルに

紙ごみや雑誌、雑がみを燃やすごみとして出していないですか？



紙パックマークの付いた牛乳や紙製の飲料容器など

紙パックの容器は水ですすぎ、切って平らに

してから乾かし、雑誌、雑がみと混ぜないでください。

→リサイクル後はトイレトペーパーなどの紙製品へ



雑誌、紙マークの付いた紙やコピー用紙、包装紙、書籍、6本入りのビールを包んでいる紙など

※汚れや線香・洗剤などの臭いのあるものは燃えるゴミへ。ビニールや粘着テープなど紙以外のものを取り除いてください。

→リサイクル後は段ボールなどへ